

# フィンテックの

金融×IT

衝撃

みずほはNFTデータとフィンテックベンチャー向けイベントを開いた(14日、東京都江東区)

④

「みずほは無知だと目覚めている。みなさんと一緒にいいサービスを提供していく」。

14日、みずほフィナンシャルグループが東京都内で開いたフィンテックイベントの会場で岡部俊胤副社長はベンチャー企業関係者に語りかけた。

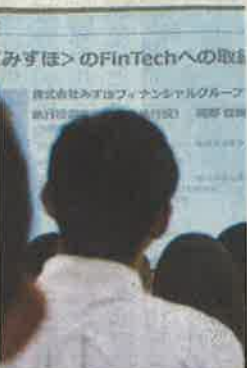
みずほの稼働口座は1600万。店舗やATMだけでは対応しきれない多様なニーズを持って余していた。切り札とみるのがフィンテック企業を巻き込んだオープンイノベーションだ。岡部副社長は「全てのサービスを自社で手掛ける時代ではないと言いつける。背景には強い危機感がある。

## 警戒から協業へ

店舗費、人件費、貸倒率ともにゼロ」。みずほの佐藤康博社長は4月、中国・浙江省のアリババ集団本社を訪れ、常職を覆す金融モデルに言葉を使った。中国のネット決済市場で5割のシェアを握るアリババでは数億人の利用データが秒単位で蓄積されていた。アリババは決済で得た顧客データを駆使し、小口金融に乗り出している。「データ処理ではかなわない。テクノロジを持って企業と勇気を持つて組めるかが問われている」(佐藤社長)

# 巻き返し 官民連携で

## 周回遅れの日本



「銀行に取って代わろうと、頭脳とカネに満ちた何百ものベンチャーが出てきている」。米銀最大手JPMorgan・チエースのジェイミー・ダイモ最高経営責任者が株主に出した手紙の一文だ。文面からにじむのはフィンテックへの警戒感。協業こそが最良の防衛策とばかりに、米国ではリーマン・ショック後からフィンテック企業への投資が始まり、2014年の投資額は1兆円規模に上る。片や日本は50億円強だ。

## 英、売上高4兆円

英国のキャメロン首相はこの夏、フィンテック企業を引き連れて訪れた東南アジア諸国で、「英国はフィンテックで世界をリードする」と力強く宣言した。英フィンテック業界の売上高は4兆円に迫る。英国は官民を挙げ有望市場での主導権を取りにきている。フィンテックへの投資や事業化で周回遅れの日本。巻き返しは可能なのか。

▶オープンイノベーション 同じ企業や組織だけでなく、社外を含めて幅広くアイデアを募りイノベーション(革新)を促す手法。既存の価値観にとらわれない発想が生まれやすいとされ、金融にも広がり始めた。

3メガバンクは傘下のベンチャーキャピタル(VC)を通じて資産管理アプリを手掛けるマネッツリー(東京・渋谷)に出資した。米アップルから高い評価を得た企業だ。三井住友銀行のVCはスマーティフォン(スマホ)に即座に決済情報を届ける技術に強みを持つKyash(東京・港)に出資。サービス開始前の段階で囲い込みを決めた。三菱東京UFJ銀行は米シリコンバレーに人材を送り込むなどしている。邦銀がようやく重い腰をあげた。

「フィンテックの変革スピードは速い。大手金融機関の経営モデルも競争力を失う可能性があり、早めに変わらな」といけぬ。金融庁の森信親長官は警鐘を鳴らす。金融庁も自らフィンテックに合わせた制度改正に乗り出す。日本はまだスタート台に立つたにすぎない。 〓おわり

(関連記事5面に、電子版) 世界で一番熱いロンドン▼W e b 刊 ↓紙面連動)